



## 新たな年、酉年 になりました 今年もよろしくお祈りします！

また新しい年がやってきました。今年度も残り 1/4 となってきました。来年度のことがそろそろ気にかかります。

今年の干支は「酉」、もう少し詳しく言うと「丁酉（ひのととり）」です。「**物事が頂点にまで極まった状態になる年**」になるとも言われているようです。全てが当てはまるわけではもちろんありませんが、夢や希望を大きく抱き、頂点を目指し続ける一年を期待するのもよいかと思います。

今年のはじめに「**頂点**」へ羽ばたき上り詰められるようなロケットスタートを切りたいですね！



## 大豆はやっぱり、学習したとおり、ス・ゴ・イ！ 3年生「総合的な学習の時間」 ボランティアの方々、ありがとうございました！！ 12/19(月)～12/21(水)



冬休みを前にした12月の学校の最終週、3年生は学級ごとに、スクールコーディネーターさんや学級担任の呼びかけに集まっていた調理ボランティアの方々と一緒に、大豆を原料とする「豆腐」と、「おからクッキー」「もちもちおから」「きな粉もち」「パン棒」「煮豆」からグループ毎に一品を選び、調理に取り掛かりました。

きな粉を作るグループが、ミルのスイッチを入れた瞬間から、炒った大豆の甘い匂いが調理室いっぱいに広がり、選択しなかった児童からも、「こんなに甘みがでてくるのかあ……」と声があがるなど、大豆の潜在能力や食品加工についての驚きや新たな発見にまで、学びを深めている様子が見られました。

3年生は1学期から、「大豆大作戦」と銘打って畑で大豆を育て、大豆の歴史や栽培方法、大豆由来の食品、給食での提供頻度や栄養価、効果・効能等、調べ学習を続けてきました。また、国語科の説明文教材「すがたをかえる大豆」を通じても学ぶ中で、次第に興味関心を高めてきました。

収穫した大豆の喜びもひとしおでしたが、さらに「この大豆を大切に食べるにはどうしたらよいただろう？」と、学びを発展させてきました。

古くから大豆は、日本の食文化や生活と密接な関わりを持ち続けてきています。最近では海外でも「Soy sauce (ソイソース)」としてメジャーな醤油ですが、豆乳をはじめ大豆ミート、大豆イソフラボンなど、和食に限らずその可能性はどんどん増えています。子どもたちの学びが、古の食文化や歴史の学びから、世界へ未来へと繋がっていくことが期待されます。学ぶことの効果による広がり、とても面白いものですね。



もうすぐ節分にもなります。この学びは節分の頃には、どのように広がっていくのでしょうか、とても楽しみです。

### あれも大豆 これも大豆

#### ①枝豆

・若いうちに収穫した緑色のもの

#### ②もやし

・光の無いところで発芽させたもの

#### ③豆乳・豆腐

・水に漬け加熱粉砕して絞った豆乳  
豆乳をにがりで固めると豆腐

#### ④油揚げ・厚揚げ・がんもどき

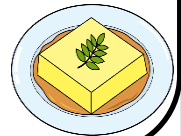
・豆腐の水分を取って油で揚げたもの

#### ⑤きな粉

・炒った大豆を粉状にしたもの

#### ⑥味噌・醤油

・脱脂した大豆を麹菌で発酵させたもの



## 図書室イベント「マツボックリツリーアート」12/8(木) at:図書室

冬休みやクリスマスを前にした12月8日(木)、福沢小学校恒例の、児童対象の図書室イベント「マツボックリツリーアート」が、昼休みに開催されました。天然のマツボックリをベースに、児童たちがそれぞれ、クリスマスツリーをイメージし、自分や家族向けに思い思いの飾り付けをしました。

自宅の自分の机にちょうどいいサイズのマツボックリに、お気に入りのデコレーションを施し仕上げていきます。日頃の図画工作の授業からつながる発想や豊かなイメージを発揮できる機会でした。世界に一つだけの作品(オブジェ?)を思い思いに造形していました。



ツリー用のマツボックリの確保は、「図書館応援し隊」の渡邊紘治さんに、制作のお手伝いは学校司書や図書ボランティアの皆さんにお世話になるなど、多くの方々から丁寧な準備や思いを賜り、実現しました。「限定80名」先着予約も即満員御礼状態でした。今後の企画もとても楽しみです。



## ベルマーク収集、保護者・地域の方々のご協力をお願いします!

### ☆ベルマークは助け合いのシンボルマーク

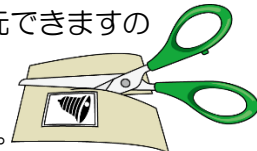
- 「国内外のお友達に愛の鐘を鳴り響かせよう」という趣旨の下、学校や生涯学習施設の教材整備を目的としています。
- マークの切り取りは、周囲に余裕を持たせて!



1月13日(金)までベルマーク収集期間としています。1月13日(金)午前、PTAの方々による今年度分の整理作業を予定しています。毎年、児童たちの学校生活に還元(過去の実績:一輪車、ミニハードル、メトロノーム等)できる物品の整備・充実に役立っています。

エプソン、キヤノン、ブラザー製の使用済みインクカートリッジ(純正品)も、ベルマークの点数に還元できますので、御家庭で未処分のもの等がありましたら、併せて収集についてご協力ください。

PTA以外の方のご協力もお待ちしています。



### 季節のたより

全国的には、南足柄市と同じ神奈川県の大磯町で1/14近辺に行われる「左義長(さぎちょう)」は、無形文化財として有名なようです。足柄地区でもいわゆる「道祖神の祭=どんど焼き」として、地区毎に実施されています。

松の内が過ぎた小正月の頃、正月に使ったお飾りや書き初め、お正月に食べ飽きた餅とは一味違う米粉の団子などを、地区のみんなが持ち寄って集まります。団子の焼け具合は、手でちよつとつぶした感触で加減を判断したり、木のくべ方や団子は火のどの辺りで炙れば焦がさないでおいしく焼き上がるか等、様々な工夫や知恵、技などを学んだりしました。竹などの燃やす材料と時間との加減を調整しながら火を囲み、互いに語り無病息災を祈念して同じ時間を過ごし、地区の農業や生活技術、正月の出来事や情報などを共有する風習が残っています。

火や食料品、医薬品など、現代ではほぼ当たり前のものであり、手に入れるのは割とたやすいかもしれませんが、かつてこれらの持続的な入手はたいへん困難であり、とても貴重なものとして感謝され、崇められていたのです。そういえば最近、「缶切」を使って缶詰を開ける機会が、めっきり減ったように感じませんか?本校の児童たちも、ひょっとしたら使えないかもしれません。昨年7月に、愛知県の団体が実験してみたところ、「中学生の7割が缶切で缶詰を開けられない」結果だったそうです。

缶切の使い方やコルク栓の抜き方などは、残念ながら小学校の授業で修得すべき内容ではありませんので、ご家庭や地域等での生活の端々で身に付けていくことになると思います。

今年は児童たちが、当たり前の事象に感謝できる、生活の中から本物の生きる技術や知恵を、自分の力で学び取り会得できるように育ててほしいと思います。

今年も、子どもたちの健やかな成長のために、今年もよろしくお願いいたします。(担当)

